

令和7年度 知財経営の進化：権利守護から価値創造への転換

特許庁「知財経営フレームワーク」に基づく、企業の競争優位を築くための循環メカニズム

価値創造を加速する3段階の循環メカニズム



知財経営を支える基盤と活用カタチ

管理対象を「知的資本」へ拡張



特許等

データ、
アルゴリズム

計算

特許等の権利に加え、データ、アルゴリズム、
ノウハウまで管理範囲を広げます。

知財経営を実際に落とし込む 3つの知財活用方法

活用方法

施策の狙い

知的資本の管理・運用



権利・データ・ノウハウの方針と
実行状況を一元管理する

IPインテリジェンス



知財情報を分析し、M&AやR&D等
の経営判断を支援する

知財開示・金融活用



投資家に成長ストーリーを伝え、
企業価値評価を高める

組織を強化する6つの内部機能



組織、ガバナンス、人材、プロセス、文化、
市場接続の6要素を整備します。